

## ■まずは飛び込め！企業の魅力を考える会 参加企業アンケート

### 参加状況

参加企業数	5社	
アンケート回収数	5社	100.0%

2025年度 千葉経済大学共同開発プログラム  
期間：2025年4月～11月

### Q1.本企画に参加した感想をお聞かせください。

1.大変良かった	5	100.0%
2.まあ良かった	0	0.0%
3.どちらでもない	0	0.0%
4.あまり良くなかった	0	0.0%
5.全く良くなかった	0	0.0%

5



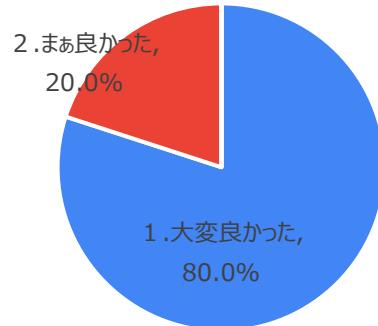
### その理由

- ・会社（教習所業界）に興味を持って頂ける事での社員のモチベーションアップ
- ・若手社員がインターンシップ生に対して、自分の作業工程を分かりやすく伝えるために要点をまとめて説明することで自分の作業工程をより理解することが出来たという声があり、業務改善にも繋がった
- ・学生さんは、概ね、いろいろなものに興味を持って取り組んでくれたと思います。みなさん素直でした。私たちの従業員も大学生が自分たちの仕事に参加してくれることでモチベーションが上がり、刺激になりました
- ・製造現場、特に製本部門のスタッフなどは若者が工場まで来るという点で非常に業務に対するモチベーションの向上に繋がった。普段はあまり外部からスポットライトが当たらない分、インターンを通じて注目されるというのはプラスの効果があった。
- ・福祉とは関連のない学部に通う学生たちに福祉のしごとを知ってもらえたこと、若い学生が利用者と交流することによって利用者の笑顔が増え、施設内の雰囲気が明るくなつたこと、また職員が学生への指導を通じて自らの振り返りや気づきに繋がっていることが非常に良い面だと感じました。

### Q2.参加にあたっての説明、運営に関してはいかがでしたか？

1.大変良かった	4	80.0%
2.まあ良かった	1	20.0%
3.どちらでもない	0	0.0%
4.あまり良くなかった	0	0.0%
5.全く良くなかった	0	0.0%

5



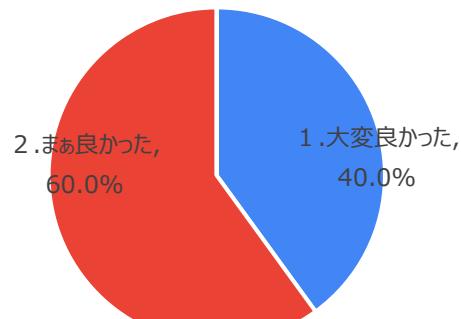
### その理由

- ・終始ストレスなくイベントを終えることができたため
- ・提出書類の締め切り期間が厳しい場合もありましたが、参加にあたって戸惑うことはありませんでした。
- ・先生や事務局の方々からのこまめな連絡や詳細な説明などがあり、とても安心して参加させていただきました。
- ・インターン前に、企業説明会として直接学生にアピールし、コミュニケーションを取る場を設けていただき、互いにインターンに対してアリアリティをもって取り組めたのが良かった部分だと思う。
- ・7ヶ月の長さについては、あえてこれくらいの期間があつて良かったと思いますし、受け入れの2.まあ良かった日間についても当社としてはプログラムが組めてもせいぜい3日分くらいなので、これでいいと思います。最後の振り返りミーティングについては、もっと活発な意見交換をするのであれば、対面の方が良かったと思います。希望を言えば、懇親会があるとなおいいかと思います

### Q3.学生の報告会は、いかがでしたか？

1 .大変良かった	2	40.0%
2 .まあ良かった	3	60.0%
3 .どちらでもない	0	0.0%
4 .あまり良くなかった	0	0.0%
5 .全く良くなかった	0	0.0%

5



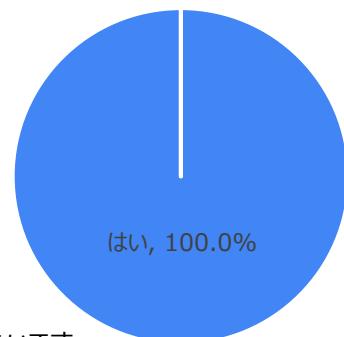
#### その理由

- それぞれのグループごとでプレゼンテーションのやり方に個性があり、また学んだことを伝えようという気持ちがよく表れていたかなと感じました。
- 自社の魅力やアピールはもちろん、学生の方から自社のインターンシップの不満点挙げてもらえることで、来年のインターンシップの改善にも繋がった。
- 内容としてはフィードバックを大きく受けましたのでありがとうございます。
- 各学生さんそれぞれインターンの経験と、そのフォローアップとして独自に調べられていて良い発表でした。
- どのグループも真摯に取り組んでいて一生懸命さが伝わっていました。当日、学生さんが緊張していたのはその表れだと思います。最後の投票について、当社は3名で参加したので、その分他のグループに行ってしまったのかと思い、そこは申し訳なかったです。ゼミの参加学生も少なかったですが、見学者ももっとたくさんいたらしいのにと感じました

### Q4.来年度同様の企画があった場合、参加したいですか？

はい	5	100.0%
いいえ	0	0.0%

5



#### その理由

- 受け入れ企業の意図や心情も伝えていただければと考えます。
- 学生へのアピール、内定にも繋がるため是非参加させていただきたいです。
- 学生の質というより、彼らなりの目的を持ってきてもらえるようご指導をいただきたいです
- 学生を受け入れることでの社内の前向きな変化、特に製造現場が未来志向型の考えに変わることができた。学生に喜んで選んでもらえる職場環境は何かという視点を常に持つためにも、現場でのインターンシップは継続したい。
- 本日のZoomでの振り返りワークショップでは、先生、他社の皆様や事務局の皆様からご意見をいただき、なるほど感じたところがありました。福祉に興味を持つてもらいたいと意識するあまり、良い部分ばかりを見せようとして、汚い部分や辛い部分はしっかりと伝えきれていなかったかもしれません。座学でのネガティブ部分の説明およびリフレーミングはもちろん行っていましたが、実際の介護現場でこそ見せるべきかもしれないと思いました。ただし2日間という短期間の中で、ましてや福祉・介護系でない学生たちに、どこまで見せ、どこまで理解してもらえるのか…。今後も参加させて頂けるのであれば、受け入れプログラムの見直しも含めて大いに検討すべき部分かと思います。

### Q5.教育機関連携企画に関するご意見ご要望などご記入ください。

- 教育機関様と連携することで学生様と繋がれる部分が魅力です。
- プログラム上難しいかもしれないが、派遣学生決定後、インターン前後で学生さんと話す機会がもう少しあれば、より相互理解が深まるかと思います。
- 学生が将来を真剣に考え、仕事を選ぶきっかけになるという意味で、このような企画は非常に意義のあるものだと思います。今後もぜひ参加させて頂きたいです。
- 産学官の交流は、どんなプログラムでもそれぞれにメリットは必ずあるので、こういった機会を今後も与えていただきたいです。合わせて当社としても採用に結びつく、つかないは別にして、社会貢献の観点から、できることには今後も積極的に関わっていきたいです